

目 次

水車非破壊検査基準

水車非破壊検査専門委員会

委員会組織	(1)
まえがき	(3)
第1章 適用範囲	(3)
第2章 検査	(4)
2-1 箇所	(4)
2-2 区分	(4)
2-3 周期	(4)
2-4 検査の優先	(4)
2-5 受渡時の留意点	(4)
第3章 検査方法	(9)
3-1 分類	(9)
3-2 選択	(10)
3-3 磁粉探傷検査	(10)
3-4 浸透探傷検査	(14)
3-5 超音波探傷検査	(15)
3-6 放射線透過検査	(18)
3-7 応力測定	(21)
3-8 材料検査	(22)
3-9 肉厚測定	(23)
3-10 き裂深度測定	(24)
第4章 検査結果の検討	(25)
4-1 欠陥の種類と見分け方	(25)
4-2 水車機器に対する応力のかかり方	(27)
4-3 欠陥に対する等級分類	(28)
4-4 欠陥の検討	(33)
第5章 記録の整理	(36)
5-1 記録の整理	(36)
5-2 欠陥の管理	(38)
添付資料	
I 水車ケーシングの応力計算例	(38)
II 圧力容器の局部応力と許容応力	(43)
III 疲労を考慮した主軸の計算例	(46)
IV 許容応力, 安全率の考え方	(47)

V	欠陥判定に対する考え方の一例	(47)
VI	水車部品の破壊試験結果	(48)
VII	入口弁の破壊試験結果	(52)
VIII	水車部品の破壊試験結果	(55)
IX	水車非破壊検査実績統計	(61)
X	水車本体および付属装置の非破壊検査実施箇所	(77)
	提出資料一覧表	(83)
	電気協同研究会の動き	(85)